

第 106 回技術講習会「騒音・振動技術の基礎と測定実習」開催報告

事業部会

第 106 回技術講習会「騒音・振動技術の基礎と測定実習」を、2017 年 6 月 15 日（木）、16（金）に東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）で開催しました。この講習会は毎年、騒音・振動に関する諸問題を解決するために必要な知識の習得を目的として 2 日間の日程で開催しており、多くの受講者の方から大変ご好評を頂いています。本年度も 1 日目 66 名、2 日目 60 名と多くの方に参加して頂きました。

1 日目は座学として、「音の基礎」（東京大学生産技術研究所：坂本慎一准教授）、「騒音の測定と評価」（名城大学：岡田恭明教授）、「騒音・振動の法令」（松戸市：桑原厚主査）、「振動の測定と評価」（埼玉大学：松本泰尚教授）の 4 つの講義が行われ、騒音及び振動の基礎知識・測定方法・法令等について学んで頂きました。

2 日目は実習として、「騒音レベルの測定」、「振動レベルの測定」、「周波数分析」について事業部会委員を中心とした講師陣と、計測器メーカー様にご協力を頂き、実際にサウンドレベルメータや振動レベル計などを使った計測実習を行い、基礎的な計測技術を習得して頂きました。

講習会後のアンケートでは、「専門家の方々から、実際の事例や経験談を交えての解説が多く、非常に勉強になった」、「実際の測定作業の体験ができ、有意義でした」、「それぞれの機器の使い方について詳しく知ることが出来たのでよかった」、「騒音、振動に関する基礎的な知識を深めることが出来てよかった」等、今後の業務に役立つとの評価を多く頂きました。

本講習会は、次年度以降も実施する予定ですので、多くの皆様の参加をお願い申し上げます。



講習会の様子

以上